

◆展覧会@RISE GALLERY

6月20日(土)～ 26日(金)の6日間、目黒・碑文谷のライズギャラリーに世界のいろいろな国の子どもたちが描いた楽しい絵が登場。そのギャラリーでは初めての子供地球基金展覧会が開催されました。

ギャラリーには、子どもからご年配の方まで、たくさんの人がお越しくださり、多くの方々に子どもたちの純粋な想いに触れていただく機会となりました。

ギャラリーでは子供地球基金のチャリティグッズも販売され、収益金を子供地球基金に寄付して頂きました。皆様の温かい想いは、子供地球基金を通し、世界中の支援を必要としている子どもたちの為に活用されます。

◆MASALAからチャリティグッズが登場！

8月に、MASALAからとてもかわいいチャリティグッズが続々と登場しました。

フランスの子どもが描いた作品「鳥」をモチーフにしたポシェットや5種類の香りのサシェ、インドの子どもが描いた「仲良し親子」がパッケージになったMASALA CHAIなど商品もとても充実しております。



MASALA CHAI ￥650(税込)



「鳥」がモチーフのポシェット
限定1個 ￥30,000(税込)



香りのサシェ 限定25個
￥1,200(税込)

■香りのサシェは5種類それぞれ羽の部分のあしらいが異なります。中に小さな小袋を入れ、香りが入り変えられるようになっています。香りもアニスがかった大人の香りのオリエンタルドリーム、コーンフラワーをメインにした少しあまい香りのする森のいたずら、ローズマリーが爽快感をくれる草原のささやき、ローズが中心のしっとりした香りの花のおしゃべり、カルダモンの香りが洗いメンズライクな風の恋人など充実しています。お気に入りのデザインと香りを是非見つけてみてはいかがでしょうか。

◆吉澤はじめ×子供地球基金チャリティーコンサート

10月10日(土) 18:00～代官山のヒルサイドテラスB1Fホールにてジャズピアニスト吉澤はじめ氏による200名限定のソロチャリティーコンサートが開かれます。1名¥4000でチケットを販売、当日は物販、募金箱の設置も致します。秋の深まりを感じながらTV、ラジオ等で幅広く活躍する吉澤氏のLive musicを五感で楽しみ頂きたいと思います。

2009年10月10日(土) 開場 18:00/開演 18:30 全席自由席 ¥4,000
HILLSIDE TERRACE 内 HILLSIDE PLAZA
代官山ヒルサイドテラス <http://www.hillside terrace.com/>
協力:ヴェガ 【問い合わせ先】 子供地球基金事務局 Tel 03-5449-8161



◆子供地球基金展覧会のお知らせ

10月に京都のばんだのはな、ル・カフェで、今年も子供地球基金の展覧会が催されます。世界の子供たちの描いた絵が20点以上展覧され、皆さんにも子供たちの純粋な想いに触れて頂ける機会となります。

【ばんだのはな】
2009年10月2日(金)～ 7日(水)
京都府京都市左京区北白川東伊織町26-2

【ル・カフェ 338】
2009年10月9日(金)～ 18日(日)
京都府京都市左京区下鴨梁田町15-2



■ NEW MEMBER 新規にご入会いただいた方々です

【個人会員】 北野 敏 様 佐野 洋平 様 鈴木 麻紗子 様 林 光夫 様 松本 恵子 様 三浦 一生 様 三宅 真理子 様 楊 婷 様
【法人会員】 株式会社ルック

(2009年6月1日～2009年8月31日・敬称略/五十音順)

子供地球基金 / KIDS EARTH FUND 〒150-0013 渋谷区恵比寿 3-25-2 TEL:03-5449-8161 / FAX:03-5449-3962
E-mail: info@kidsearthfund.jp / URL: <http://www.kidsearthfund.jp/>



かかし / A Scarecrow
張 馳(チャン・チ) / Zhang Chi
中国 / China
12歳 / 12 years old

特集 子供地球基金 ファンドレイジングパーティー “Making a house a home” @グランドハイアット、フレンチキッチン



東京、六本木のグランドハイアット、フレンチキッチンにて、Making a house a homeと題した子供地球基金主催のファンドレイジングパーティーが9月5日（土）開催されました。子供地球基金では、これまでに10箇所のキッズ・アース・ホームを創ってきました。今回は、そのうちの一つである第4号ベトナムキッズ・アース・ホームの施設充実を目的とし、たくさんのスポンサーの後援のもと、たくさんの方々のご協力を得てパーティーが実現し、多くの温かいご支援をいただくことが出来ました。

間接照明で温かくラグジュアリーな雰囲気の漂う会場には、世界中の子どもの描いた絵が飾られ、会場にお越しくださったゲストの方々に絵を楽しんでいただきました。

パーティー会場は夕方6時に開場され、それと同時に東京のインターナショナルスクールに通う子どもたちによるライブペインティングがスタート。楽しい音楽が流れる会場で、子どもたちはそれぞれのキャンパスにクリエイティブでカラフルな絵を描きました。



ライブペインティングが終わると、会場で描かれた子どもたちの絵とラグジュアリーブランド商品のオークションが開催されました。元気いっぱいの絵を会場にいる大勢のゲストに発表し、子どもたちはとても誇らしげな様子でした。オークションで落札された商品の収益金は、第4号ベトナムキッズ・アース・ホームの設備充実のために使われます。

素敵な雰囲気と、皆様の温かい想いでいっぱいファンドレイジングパーティーとなりました。



KIDS EARTH HOME Project キッズ・アース・ホームプロジェクト

KIDS EARTH HOME Report in Vietnam



日本より更に暑い7月下旬の空の下、武蔵野学院の生徒から子どもたちに寄贈された絵のお礼として、描かれた2枚の大作がペンキを乾かす為に校庭に置かれていました。色鉛筆やクレヨンを巧みに使い生き生きと描いた子どもたち。ベトナムの風土が表現されたとても素晴らしい作品に仕上がりました。フライトアテンダント、警察官、先生や秘書など将来の夢を元気に語ってくれました子どもたちの笑顔が強く印象に残っています。武蔵野学院の皆さんにお礼の絵を寄贈する日が待ち遠しいです。



KIDS EARTH HOME Report in Cambodia

今年2月に新たに加わったサポート孤児院、KIEN KLAINGで7月28日に初のワークショップが行われました。現在2才～21才の計42名が生活しています。幅広い年齢層の子どもたちが生活している為、上の子が下の子の面倒をよく見て、先生や現地ボランティアも大変助かっているといいます。チームワークが良く、2枚の大作があったという間に仕上がりました。色とりどりの作品は躍動感と喜びに溢れこちらの胸も弾みます。

今後更なるリフォームを必要とし多くの課題が残る施設ではありますがベッド、棚も新設され子どもたちが伸び伸びと中庭を走り回る姿が印象的でした。



KIDS EARTH CAR Project キッズ・アース・カープロジェクト

至誠学園：クロアチアの子どもたちへ ～ハッピー・フラッグ・プロジェクト～



今年で6回目を迎える第1号キッズ・アース・ホームと児童養護施設至誠学園の子どもたちとの異文化交流。今年のワークショップは、お互いの国の「ありがとう」「こんにちは」「おめでとう」「幸せ」という言葉を記し、絵を描いた旗を交換しようというもの。クロアチアのキッズ・アース・ホームの子どもたちから届いた映像には、昨年の9月に完成したホームで楽しく過ごす子どもたちの様子が。「HALA! (ありがとう)」 「BOK! (こんにちは)」 「CESTITAMO! (おめでとう)」 「SRETNO! (幸せ)」 クロアチアからのメッセージは、聞いたことがない、ちょっと難しい言葉。それでも、元気なクロアチアの子どもたちに伝えるように、子どもたちはゴールドマン・サックス証券のボランティアの皆さんにも手伝ってもらいながら、真っ白いキャンパスに、クロアチア語の言葉を大きく大きく書いていきました。

子どもたちの筆が進み、キャンパスは楽しい絵でどんどん埋め尽くされていきます。クロアチアってどんな国旗なの？どんなものを食べてるの？絵を描いているうちに、クロアチアに暮らす子どもたちのことが、もっと知りたくなってきたようです。そしてとても楽しい4枚の旗が完成！みんなで覚えてばかりのクロアチア語と何を描いたかを発表しました。

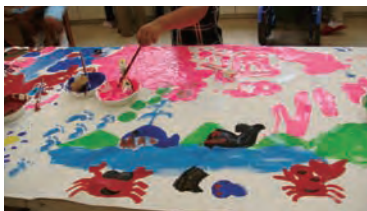
毎年交流を続けている至誠学園の子どもたちとクロアチアの子どもたちの友情が、またさらに深まるアートワークショップになりました。ご協力：ゴールドマン・サックス証券株式会社

慈恵医大：宇宙の外を描いてみよう

慈恵医大での2ヶ月振りのワークショップは、「宇宙の外を描いてみよう」というもの。久しぶりにワークショップを行わせていただけたということで、子どもたちがどんな絵を描いてくれるのか、とても楽しみでした。

「宇宙」ということで、黒い画用紙と大きなキャンパスを用意し、思い思いの絵を描いてもらいました。小さい画用紙や黒い画用紙にじっくりと描く子。大きなキャンパスに筆や手を使いながら、ダイナミックに描く子。子どもたちの個性が光っていました。

あっという間に、テーマと同様に壮大で、独創的な作品ができあがりました。子どもたちのたくさんの笑顔が見られたのと同時に、ご父兄の方々も子どもたちと一緒に楽しんでくださっていたことが、とても印象的でした。みんなの笑顔溢れる、とても賑やかなワークショップになりました。



あきるの学園：みんなで大きな絵を描こう ～みんなの拍手～

東京都立あきる野学園にて、毎月第3土曜日に様々なプログラムを実施している、「あきるのクラブ」のプログラムの一環として、ゴールドマン・サックス証券株式会社様ご協賛の元、初めてのワークショップを行いました。第1回目のワークショップは、「みんなで大きな絵を描こう」と題し、「みんなの拍手」で絵をいっぱいにしようというもの。

あきる野学園の生徒や卒業生、他の学校の生徒など、35名の子どもたちが参加してくれました。好きなものを自由に描く機会が、あまりない子どもたちが多く、大きなキャンパスを前にして、最初は何を描こうと悩んでいる子どももいましたが、ゴールドマン・サックス証券のボランティアの皆さんに手伝ってもらいながら、小さい筆や大きな筆だけでなく、手を使ったり、紙や綿、毛糸を貼ったりと大きなキャンパスに、思い思いの絵を描いていきました。

キャンパスは魅力的な絵でどんどん埋め尽くされていき、描き足りない子どもたちは、画用紙にも描きました。また、あきるのクラブのプログラムに参加された全ての方に絵を描いていただきたいという思いから、お帰りになられる際にお声がけをして、小さな画用紙に描いていただきました。子どもたちだけでなく、ご父兄やボランティアの方々まで、皆さん楽しそうに描いていらっしゃいました。

「うちの子はこんなことができたのね」と嬉しそうにおっしゃられているご父兄の方がいらっしゃいました。このワークショップが子どもたちにとって、何かのきっかけになれたら、本当に嬉しいです。子どもたちのパワーを再確認する、温かいワークショップになりました。ご協力：ゴールドマン・サックス証券株式会社

国立武蔵野学院：キッズ・アース・ホームの子どもたちへ

昨年に続き今年も国立武蔵野学院にて、ワークショップを行わせていただきました。前回と同様にクロアチア、カンボジア、ベトナムのキッズ・アース・ホームの子どもたちへ贈る絵を描こうというもの。

各グループが、みんなで決めていた図案をもとに、色を混ぜたり、本を参考にしながら描いたり、工夫をしながら、とても真剣に描いていました。どんな言葉を話しているのか？どんな生活をしているか？と絵を描いているうちに、クロアチア、カンボジア、ベトナムについて、もっと知りたくなってききました。

そして素敵な5枚の絵が完成。生徒の皆さんのお顔が充実感に溢れているように感じました。今年で2回目のキッズ・アース・ホームと武蔵野学院の国際交流ですが、「子どもたちが世界に興味を持ち、羽ばたいてくれる」。そんな予感をさせる、とても希望に満ちたアートワークショップになりました。



東邦大学医療センター大森病院：思い描く夏を描こう

夏一番を迎えた7月21日、東邦大学医療センター大森病院でのアートワークショップのテーマは、「夏」。

4歳以上の子どもたちは、同じキャンパスを使って、ひとつの作品を作りました。お絵描きが大好きという子は、色をたくさん使って、どんどん筆を進めていきます。中には、何を描くかをじっくり考えて、慎重に筆を進めている子もいました。海、花火、スイカ割り・・・真っ白だったキャンパスが、みんなの思い描く「夏」でいっぱいになりました。

とてもカラフルで楽しそうな絵が完成！子どもたちの顔が、充実感に満ち、生き生きとしていました。

4歳以下の子どもたちは、画用紙に自由にお絵描きをしました。色をたくさん使いながら、画用紙いっぱいを楽しそうに描いていました。みんなで仲良く、お絵描きを楽しみました。

ご父兄の方々も子どもたちと一緒に楽しんでくださり、みんなの笑顔が溢れる、夏にぴったりの明るいアートワークショップになりました。

指揮者・大野和士さんとワークショップ @愛知県芸術劇場

8月5日（水）愛知県芸術劇場中リハーサル室にて、財団法人愛知県文化振興事業団主催による『指揮者・大野和士の子どものためのワークショップ アート体験<夏>②「音ってなに色？」』が行われました。

このワークショップは、大野和士さんが希望されたことをきっかけに開催され、KEFとしても初の試みの12mキャンパスを使うことになりました。

テーマは「火の鳥」。大野さん自らが、ストラヴィンスキー作：火の鳥のストーリー説明をした後に生演奏をし、そこでイメージしたものを子どもたちが描くことに。26人の子どもたちは元気よくキャンパスに向かい、見事様々な「火の鳥」が色鮮やかにキャンパスに生まれました。

この絵は11月7日に開催される「大野和士指揮・フランス国立リヨン歌劇場管弦楽団コンサート」で展示されるほか、フランスのリヨン歌劇場（リヨン・オペラ座）でも展示予定です。

